

平成19年度・関西支部例会開催のお知らせ

『鋳物の高付加価値化』

- 表面改質はここまで進んでいる -

主催 (社)日本鋳造工学会関西支部

協賛 (社)熱処理技術協会西部支部

日本溶射協会関西支部

鋳物の鋳物から部材・最終製品へ。鋳物は鋳造という自由度の大きい成型法によってつくられる。鋳物の付加価値を上げるためには、最終製品が必要とする特性を知り、特性向上の技術を取り込むことが必要です。耐摩耗性や耐食性など表面に関係した特性は多く、表面改質は日進月歩の技術分野です。

(社)日本鋳造工学会関西支部では、関連団体の協力も得て、表面改質の現状と、実際にどれほどのメリットが望めるものなのかを知るための講演会を企画いたしました。製品の付加価値化を目指す多くの鋳造技術者のヒントとなるような情報をお送りすることができると考えております。全国からの多数のご参加をお待ち致しております。

記

日時 平成20年2月6日(水)13:00~17:00

場所 大阪府立大学 学術交流会館 多目的ホール

大阪府堺市中区学園町1-1 (電話:072-252-1161 内線2791)

地下鉄御堂筋線 なかもず駅下車 徒歩15分 (<http://www.osakafu-u.ac.jp/access/index.html>)

参加費 会員、協賛団体会員4,000円 非会員8,000円 学生1,000円

申込方法 平成20年2月1日(金)までに、申込書を(社)日本鋳造工学会関西支部宛、参加費を下記のいずれかにお振込ください。

送金方法 郵便振込 口座番号:00910-7-102381

(社)日本鋳造工学会関西支部宛

銀行振込 三菱東京UFJ銀行・中之島支店 普通預金 32749

(社)日本鋳造工学会関西支部 支部長 三宅秀和 宛

問合せ先 〒579-8037 東大阪市新町12-34 (株)ナニワ炉機研究所内

(社)日本鋳造工学会関西支部 事務局 TEL0729-86-2608 (FAX 共用)

<http://www.mat.eng.osaka-u.ac.jp/mse6/jfskansai/kansai.htm>

プログラム

13:00~13:10 開会挨拶 (社)日本鋳造工学会関西支部 支部長 三宅 秀和

13:10~14:10 ダイヤモンドライクカーボン(DLC)膜の特性と現状

大阪府立産業技術総合研究所 三浦 健一

DLC膜は、現在様々な分野で実用化研究が進められているが、従来のハードコーティング膜に比べて諸特性が広範なため要求性能に応じた膜質の制御が重要となる。本講演ではDLC膜の特性と適用例について紹介する。

14:10~15:00 溶射への誘い -新しい材料プロセスへのブレークスルーを求めて-

近畿大学 沖 幸男

溶射技術は産業界で欠くことのできない表面被覆、表面改質技術でありさまざまな分野で活用されている。また、近年 新しい発想の溶射法が開発され、その発展が期待されている。そこで、溶射技術の歴史を概観し、将来を展望する。

15:00～15:20

コーヒーブレイク

15:20～16:100 鑄鉄の浸透拡散熱処理・技術と効果 カワサキプレジジョンマシナリ 森 崇
鑄鉄の疲労強度や摩擦・摩耗特性を改善するために行われる浸透拡散熱処理に関して、鑄鉄に最も多用される窒化系熱処理を主体として、プロセス技術と効果を説明する。

16:10～17:00 低温浸炭と窒化によるオーステナイト系ステンレス鋼の耐食性表面硬化
関西大学 市井 一男
優れた耐食性を保ったままでの硬化処理が無かったオーステナイト系ステンレス鋼の表面硬化処理法。低温での浸炭や窒化によって耐食性を落とすこと無く硬化させることができ、耐摩耗性の大幅な向上が可能となった。

17:00～17:10 閉会あいさつ 企画担当代表理事 大阪府立大学 辻川 正人

.....
(社)日本鑄造工学会関西支部

FAX 072—986—2608 (電話兼用)

平成19年度例会参加申込書

下記の通り参加を申し込みます。 平成 年 月 日

勤務先名			
所在地	〒		
参加者氏名	所属部・課等	資格(で囲む)	
		会員・非会員・学生	
		会員・非会員・学生	
		会員・非会員・学生	
TEL:	送金額		
FAX:			円
送金方法を で囲んで下さい(振り込予定日) 月 日 郵便振込 ・ 銀行振込			

* 必要事項をご記入の上、2月1日(金)までに支部事務局へ郵便又はFAXでお申込みください。